

令和7年度 1学年対象グローバル教育講演会について

1. 実施概要

(1) 実施目的

第1回 生徒にとって身近な本校職員から、海外での勤務・交流経験の話を聞くことで、外国語を学ぶ意味やその心構えを改めて考える機会とする。また、グローバル社会において様々な人々とコミュニケーションをとる時の姿勢や、多角的な視野で物事をとらえる力の育成につなげる。

第2回 「企業の ESG 活動」の専門家を招き、今日の国際的な課題と、それらに対する企業のマーケティング活動や企業・社会人に求められる姿勢について学ぶ。また、海外での経験や企業で働くことについて話を聞き、「国際理解」や「キャリア意識」を育む機会とする。

(2) 実施日時

第1回 令和7年10月27日（月）6校時

第2回 令和7年12月8日（月）6校時

(3) 講演者・講師

第1回 本校 教諭 土江康裕

教諭 玉越夕貴

第2回 花王株式会社 特命フェロー グローバルコンシューマーケア部門

一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 理事

小泉篤 様

(4) 講演のテーマ

第1回 「海外で働き、交流すること」とは

第2回 「企業の ESG（SDGs）活動」について

2. 講演内容の概略

第1回

<土江教諭：「ドイツ赴任の経験」>

- ・ドイツ赴任の経緯
- ・ドイツで働いたときの苦勞
- ・ドイツで経験した印象的な文化

<玉越教諭：「アメリカ（テキサス）での日本語指導と交流」>

- ・現地の学生の質問力
- ・「今を全力で生き、楽しむ」ことの大切さ
- ・「失敗してなんぼ！」チャレンジすることの大切さ



第2回

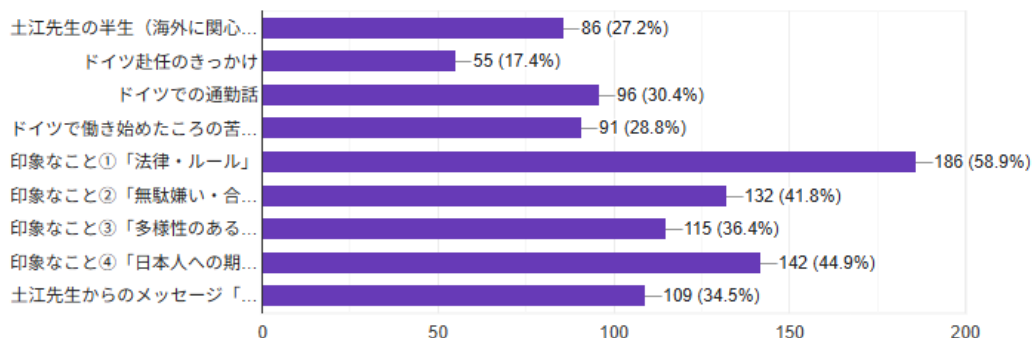
- ・講師・花王株式会社の紹介
- ・急速に変化する国際社会
- ・これからの企業が求められる姿勢や活動
- ・(株)花王が行っていること
- ・高校生に求め、期待していること



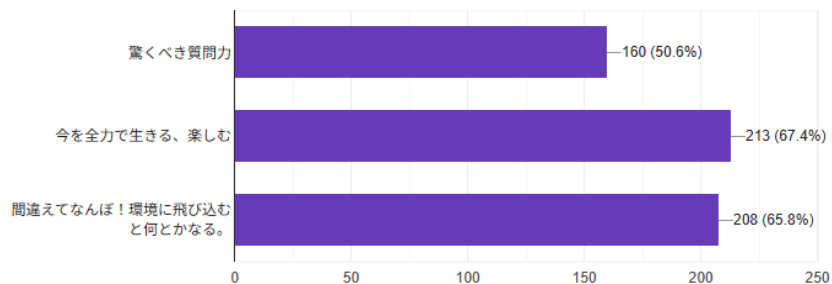
3. 生徒の感想（各講演後のアンケート結果）

第1回（回答人数：316名）

Q. 土江教諭の講演の中で関心をもったものは。（複数回答可）



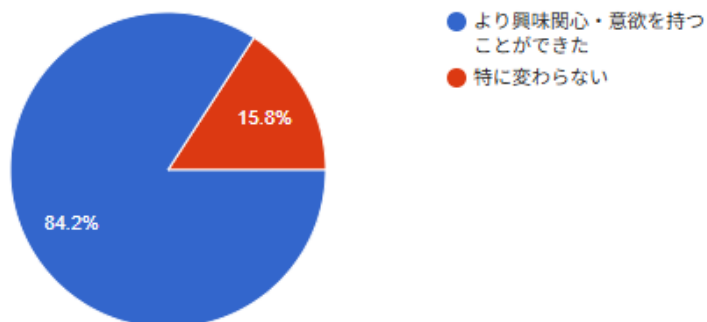
Q. 玉越教諭の講演の中で関心をもったものは。（複数回答可）



Q. それぞれの講演について、もっと知りたい/聞きたいと思ったこと。（一部抜粋）

- ☐ 日本語を教えたときのお話を詳しく聞きたい
- ☐ 海外で受けたカルチャーショックの中で一番困ったこと
- ☐ 海外で英語の発音に耳がなれたのはいつか
- ☐ 完璧に英語を話せなくても、実際行ってみて学んだら話せるようになるのか
- ☐ ドイツの文化についてもっと詳しくききたい
- ☐ ドイツでの生活に影響されて今の日本の生活で困っていることはあるか

Q. 本日の講演を聞いて、海外への興味関心・意欲は変化したか。

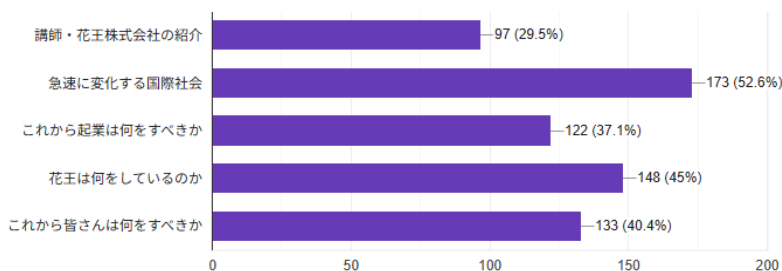


Q. 講演に関する感想。 （一部抜粋）

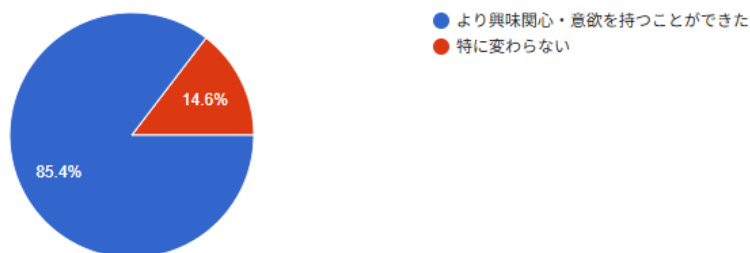
- 海外に触れる機会が普段ないので、自分が経験したことのない海外での生活や文化、ルールなど、様々なことを知り、海外に興味を持つことができた。
- 海外への憧れがより強くなりました。
- 実際に経験した事を混ぜて話をしてくれて、すごく分かりやすかったし、魅力に気づけた気がした。自分はあまり興味がなかったけど、今回を通して海外への魅力を持ちました。
- いつか海外に行きたいと思っているので様々な海外事情を知ることができたのでこれからの目標を決める良い機会になりました。
- 海外には怖いけど行ってみたいくらいに思っていたけど、今日のお話で怖いという気持ちがなくなり、行ってみたいという気持ちが強くなった。
- 海外に行くためには日本のこともしっかりと知らなければいけないことを知りました。間違いを恐れずに挑戦することを心に何事にも頑張りたいと思います

第2回（回答人数：329名）

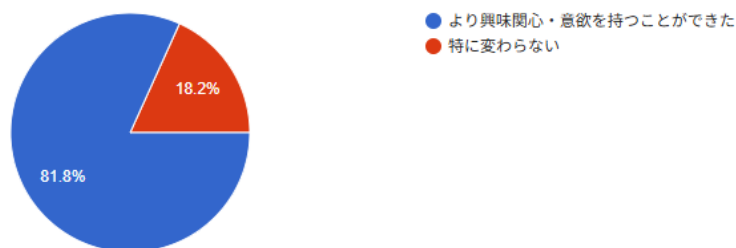
Q. 今回の講演の中で関心をもったものは。（複数回答可）



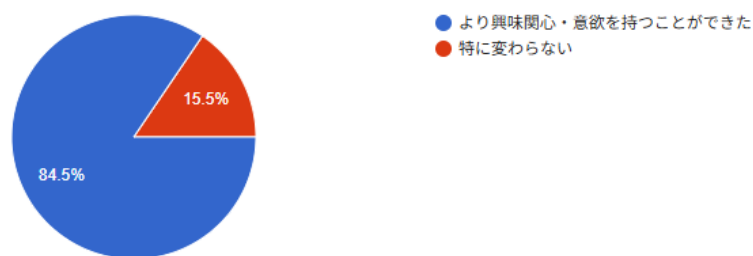
Q. 「身近な社会課題やその取り組み」への興味・意欲は変化したか。



Q. 「社会課題に対する企業の取り組み」への興味・意欲は変化したか。



Q. 「社会課題に対する国際的な取り組み」への興味・意欲は変化したか。



Q. 講演に関する感想。（一部抜粋）

- 商品を通して、SDGs の課題を解決しようとしているのがすごいと思った。
- 企業は会社の利益だけを優先しているかと思っていたが、国際的な問題を解決するために商品開発を行うなど、さまざまなことに取り組んでいることを知った。
- 企業の視点からこれからの社会に大切なことを知ることができてよかった。
- 国や国連だけで動くのではなく、ひとりひとりが今の状況を自覚して行動することが大切だと感じた。
- 将来を生きる上で自分たちがどのようなことをしなければならないのかを具体的に知ることができたので、今後実践できるように頑張っていきたいと思う。
- 地球の環境を変えるためには世界中の人々が競争するのではなく共創しなければならないという言葉が印象に残った。
- 花王の経営理念の「創造と確信で人と社会、地球の〔綺麗〕に貢献と全ての命が調和する、心豊かな未来を目指す。」の部分で、民間企業の先駆者である UNGC としての取り組みを行っているところに、消費者のことだけではなく地球環境や顧客、従業員の事も考慮しているのがとても良いと思った。

4. まとめ

今年度も1年生を対象に全2回、グローバル教育講演会を実施した。いずれの講演会においても、生徒たちが海外への興味関心を強めたことがアンケートの回答からもうかがえる。それだけでなく、英語学習への意欲や進路活動へ向かう意識、知見を世界へと広げる意識の向上にもつながった。講演会がより生徒にとって有意義なものになるように、来年度以降も内容や時期等を引き続き検討していきたい。